



# 磐田南高校同窓会だより

静岡県立磐田南高等学校同窓会 発行

ホームページ <http://www.iwatanet.com/bannan/>

No. 33

## 来年、母校創立90周年 建学の精神を次代に繋ぐ

### 第85回 同窓会総会開催



総会の様子

平成23年8月21日、磐田グラウンドホテルにおいて、来賓並びに多くの同窓生の出席のもと盛大に開催されました。会の中では、来年は母校創立90周年の記念すべき年に当たることから、同窓会の一層の団結と協力が確認されました。

母校の伝統と同級生の絆

高42回 上原 弘樹

今回当番年次として同窓会総会を担当させていただきます。



はじめ諸先輩方の多大なご支援とご理解を頂きましたことを、この場をお借りしてお礼申し上げます。今年度のスロウガンを、集まれ！

### 受賞者喜びの談

卒業70周年(中15回)

挨拶は内山良さん

私も昭和16年に卒業し本年70周年となりお招きありがとうございます。現在連絡のつき者が47名ですが、本日出席者は15名であります。



卒業した年はちょうど太平洋戦争が始まった年で昭和11年からずっと軍国少年で育ちましたが戦争が終り昭和22年より新憲法の暴民主主義を学び、それぞれの職場や学校で実践してがんばって参りました。

これからは皆さんといっしょに母校のために命ある限り精進してがんばっていきたく思います。

卒業60周年(高4回)

挨拶は金澤成光さん

私達高校4回卒、21名が壇上にあがらせてもらいました。

卒業60周年の銀メダルをいただきたく事となりありがとうございました。

昭和21年に見付中学に入學し、しかも旧制の最後の学年です。途中23年4月に県立磐田第二高等学校となり中学校が併設され3年生になったわけです。24年に磐田南高となり男女共学となりました。要するに下級生がいなかった時代が4年間。その間は上級生から多方面に渡り



金賞受賞者

卒業50周年(高14回)

挨拶は山内盾夫さん

卒業50周年となりこのようすばらしい銅メダルをいただきありがとうございます。私共同期生は36名の大勢が各クラス幹事の努力で集まっていたきました。

磐田に住みながら同窓会にあまり顔を出さないといいこと、親子共々同窓会にお世話になつたことから私に白羽の矢が立ったようです。

学生時代の思い出は、一方的に女生徒に胸をときめかせた淡く切ない思い出、もう一つ私達の1、2年先輩の陸上部の皆様が大活躍をされ、全国に磐田南高の名前を知らしめた。在校生としての誇りを持ってたということです。最後に卒業半世紀の節目に当たり、このような場を与えていただき感謝申し上げます。



卒業20周年の43回生に引継ぎ

創立90周年記念を目前に



見中・磐田南高同窓会会員の皆様方には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は同窓会諸事業にご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。本年度第85回同窓会総会も当番年次の高校42回生により、多くの会員の出席を得ました。総会においては、前年度、本年度の事業・会計などが承認され、更に本年度新たに掛川・菊川支部設立の承認がなされたことを報告致します。

さて、今春の東日本大震災にて亡くなられた方々に対しまして深甚よりご冥福と哀悼の意を表します。

磐田南高等学校同窓会長

す。地震・津波・原発事故の災害にあつて、日本全国の心が一つになつて、一日も早い復興を願う人の絆として表れております。今年の夏は、新聞・テレビの報道で『節電』が叫ばれていますが、今更としか言いようがありません。日本の文化は「質素」「勤勉」「儉約」の言葉の下に、少し前の時代を支えてきました。いつの間にか消費が美德であるような風潮になつてしまいました。人間界だけが文明社会を謳歌し、自分勝手に自然を破壊することが繁栄と考へてきました。しかし、大自然の中に人間が生かされていることを忘れてはなりません。牙を剥いた大自然に私たちの生き方の反省を迫られているような気がします。母校

高17回 櫻井孝順

の創始の精神を鑑みるに、皆で汗した「労作教育」は、大地を耕作する以上に生徒達の心を磨くことが真の目的であつたのだらう。見中の諸先輩の記述にも、早朝の校内維持から放課後の土運びに至る「労作教育」は、人と人との繋がりや故郷に思いを寄せるように懐かしいものだと思ふされています。昭和18年に建立された「頌徳之碑」には、その薫陶を受けた卒業生の想いが表れています。温故知要、来年迎える創立90周年。伝統ある本校の教育理念に焦点を合わせ、同窓会会員の英知を結果し、100周年を見据えた記念事業を展開し、生徒達に真の磐南の校風を翻してもらいたいと思ひます。

創立90周年に向けて



平成23年度も半ばとなりまして、母校の生徒たちは、校訓「質実剛健・真剣至誠・文武両道」の下、勉学に部活動にと、こころざし高く励んでいます。ほとんどの部活が県大会に出場してあります。陸上競技部と水泳部(水球)が東海大会に出場しましたが、惜しくもインターハイ全国大会への出場は叶いませんでした。文化部では、ビジュアル部、地学部、囲碁部が全国総合文化祭に出場しました。また、「スーパースイーンズハイスクール」事業は、今年度第3期5年間の指定を受け、新たな取り組みも始まっています。

磐田南高等学校校長

さて、今春4月、本校第13代校長、西ヶ谷勉志雄先生が来校されました。現在は金沢市にお住まいですが、墓参のために静岡にお戻りになられたとのことでした。先生は昭和40年代に本校に勤められ、私は授業を教わりました。また、昭和59年から三年間、校長でいらつしやつた時、私は教員としてご指導いただきました。同窓生の皆様の中でも、先生のことを、ご記憶の方は多いことと存じます。お歳を感じさせない風格と柔らかな笑顔は、全くお変わりありませんでした。校舎やグラウンド、特に防風堤を懐かしくご覧になり、「桜の木が大きくなったね」と仰いました。そして、先生が本校の次に「自身の母校である清水東高校の校長

高24回 伊藤 律夫

として赴任されてからのことでした。本校在任時、同窓会組織が大変充実していること、各支部の活動も活発であることに驚かれたそうです。そして、清水東高校にお勤めする間、当校同窓会に磐南の同窓会活動を紹介し、東京支部も立ち上げてもらったとお話されました。同じ思いである私ですから、同窓会活動に改めて感謝申し上げます。西ヶ谷先生のエピソードを紹介させていただきます。ところで、来年は学校創立90周年を迎えます。この記念すべき年に在籍する生徒は、必ずや磐南生であることの誇りを胸に刻むことでしょう。同窓会の皆様の温かなご支援を、心よりお願い申し上げます。

慰霊祭を終えて



本年度も例年通り、はぐま会館におきまして、同窓会長、校長先生にご臨席いただき、慰霊祭を開催させていただきました。

昨年1年間の物故者は御報告いただいた人数で、66名でした。また私ども33回生の今までの物故者は5名でした。先日、東日本を襲った地震と津波により、日本は大きな被害を被つたわけですが、日本は地震、津波のほかにも、台風や悲しい戦争など、多くの試練を受けてまいりました。しかし、先人たちはこの試練にも屈せず、日本をさらに発展させてくださいました。

このような試練があるからこそ、日本人は強く逞しいのかも知れません。我々、残された者も遺志をついで、故郷を、そして、この国をすばらしいものにすべく、強く生きて、次代へとつないでいきたいと考えさせられました。以上で慰霊祭を担当しての報告とさせていただきます。



支部総会に参加を

関東支部	支部長 近藤 彰(高11回)	住所 上尾市上1-6-87の3	電話 048(774)8586	総会日 平成23年11月12日
静岡支部	支部長 川島安一(高18回)	住所 磐田市南島2-1-8の1	電話 0538(55)3577	総会日 平成24年9月予定
掛川・菊川支部【新設】	支部長 大庭勝長(高7回)	住所 掛川市杉谷南1-16の4	電話 0537(21)7033	総会日 年度内開催予定
袋井支部	支部長 鈴木計夫(高7回) 新任	住所 袋井市陸町8-8	電話 0538(42)5029	総会日 平成24年7月予定
磐田支部	支部長 青島克樹(高14回)	住所 磐田市城之崎4-11の11	電話 0538(34)9203	総会日 平成24年4月28日
豊田支部	支部長 清水孝男(高16回)	住所 磐田市一言2-832の2	電話 0538(35)0126	総会日 平成24年2月予定
西遠支部	支部長 村松 暹(中20回)	住所 浜松市東区北島町5-56	電話 053(421)3721	総会日 検討中
東海支部	支部長 大橋正隆(高8回)	住所 名古屋市中区白壁1-27の2の301	電話 052(972)7663	総会日 年度内開催予定
関西支部	支部長 大石英機(高12回)	住所 奈良市朱雀2-1-7	電話 0742(71)7098	総会日 平成24年9月8日

### 貴船神社の歴史

#### 水の神、海上安全の神

全国各地に二六〇社とも三〇〇社とも五〇〇社とも言われる京都市左京区鞍馬貴船町に一六〇〇年前に創建されたとされる貴船神社の分社の一つです。

掛塚の貴船神社の創建年代は明治一六年の大火で記録を焼失しているなどのため詳らかではありませんが、貴船神社及び静岡県神社庁によれば、天正四年（一五七六）に社殿の再建を行ったとし、それ以前の文明年間以前（一四八六年前）に創建されたと伝えられているといえることから、京都相国寺の僧・万里集九が、江戸に向かう途中、掛塚に来た時（一四八五年）には、すでに貴船神社はあったということになるかも知れません。

祭神・高おかみの神（たかおかみのかみ）は水の神、平安遷都以後皇居の水である加茂川の水源地に鎮座していましたのでその守り神として信仰を集めていました。「おかみ」は、元々「龍」のこと、龍は水や雨を司る神として信仰されていました。

### 掛塚湊の繁栄と掛塚まつり

もともと貴船神社は、地域の産土神として崇敬を集めていました。掛塚は、当たれば大儲け、難破でもすれば破産という近世の廻船業者が集まっていたました。

大きな廻船問屋だと四隻もの船を持つっていました。掛塚廻船の船頭は、青峰山正福寺（三重県）や金刀比羅宮（香川県）などに詣でて厚く信仰していました。それとともに、地域の産土神についても、特に貴船神社は、水を司る神を祭神とするため、船主の厚い信仰を集めていました。



掛塚貴船神社

廻船業者たちは氏子総代などの役割も務め、貴船神社の社や宝物、さらには祭礼にまつわる品々（神輿の鏡など）を競って奉納しています。貴船神社神輿の巡行にお供する屋台は、大当町の屋台が寛政年間（一七八九〜一八〇〇）に製作されたとの説があります。

### 「屋台まつり」と呼ばれた掛塚まつり

湊も屋台も街道一  
地元のみなさんが街道一と自慢する豪華な屋台で知られる掛塚まつりは、毎年十月の第三土曜日・日曜日に行われる貴船神社（掛塚本町）の例大祭です。

遠州地方一円の祭礼について記された「祭礼調査」という資料によると、貴船神社の祭礼は日本第二であると書かれています。貴船神社の祭礼は、一年に一度、貴船の神様が社をお出しになって、氏子に徳を施されるというものです。神様のお伴をして若衆が屋台を引いたのが掛塚屋台の始まりと言われています。掛塚にあのような豪華な屋台があるのは、繁栄を誇った街道一の掛塚湊の歴史によります。

## ふるさと 故郷の周辺をたずねて

### 貴船神社の歴史と掛塚まつり

文：佐藤喜好  
磐田市教育委員会文化財課 歴史文書館長  
取材：鈴木昭次(高12回)



渡御に出発する御神輿



貴船神社に集合した屋台

に向かわれる途中、貴船神社の大祭に出会い、村人は貴人を迎えて歓待前途の隆昌を祈願しました。この折親王の随員・中御門中納言某より伝授されたのが御公卿囃子と伝わっています。

掛塚屋台囃子は、昭和四十五年県指定文化財に指定されました。静かで極めて荘厳なお囃子は、ローソクのもつた提灯に照らされた屋台が、神社から各町に帰るときに奏でられるというシチュエーションも手伝って、哀愁を帯びて感じられます。

### 掛塚屋台の技は、

#### 立川和四郎の手ほどき

地元の宮大工も参加し、今に伝わる技能  
磐田市指定文化財を含む屋台は、本舞台と呼ばれる九台の屋台が掛塚地区九町によって運行されます。掛塚の屋台は、江戸から明治にかけて、掛塚地区の財力をもって製作された豪華な屋台です。

信州諏訪の名工・立川和四郎が製作を請け負った屋台はありますが、現存する屋台で、立川和四郎本人が直接製作した屋台は残念ながら確認できていません。文久二（一八六二）年に中町屋台の製作を立川和四郎（昌教）に依頼していることは、文

書が残っていますが、この屋台は先代の屋台とされています。立川和四郎の下でほとんどの屋台は、地元の宮大工が製作に携わっています。

宵の屋台の見事さ  
掛塚まつりは、一日目の宵祭りりと二日目の本祭りの二日間わたって催行されます。

掛塚まつりの屋台は、普段はほくして保存され、まつりの三週間から一週間前に組み立てます。今年も、宵祭り・本祭りの両日とも屋台が夜、貴船神社に集まりますので、煌びやかな掛塚屋台を十分に堪能いただけることでしょう。

【宵祭り】は、午前中に各町内を回った屋台が、午後から貴船神社に向かいます。午後三時十分、貴船神社西の本町通りに全屋台が整列。並ぶ順番は、最も遅く貴船神社に入る本町が、本町上の神社から一番遠くに行き、最初に神社に入る町が、貴船神社のすぐ近くに位置します。ここで、各町は屋台に提灯をセットします。

【本祭り】は、祭の中心的な行事・神輿の渡御が行われます。昨年までと比べて進行が二時間ほど早くなりました。神輿のお供をして神社を出発した屋台は、再び神社に帰ることはありませんでしたが、半世紀ぶりに神社に帰ることになりました。



屋台組み立て (掛塚本町屋台組み立て)

女性研究者と科学技術の未来 「卒業して60年の今」



高4回 伊藤厚子

皆様こんにちは。同窓会だよりの編集者の方から「同窓生の今」の欄に寄稿するようにとの依頼を受けて、ふと振り返ってみてびっくりです。私たち高4回生が磐田南高校を卒業したのは1952年(昭和27年)のことですから、来年の春には卒業60周年を迎えます。一緒に卒業したのは丁度300名です。このうちの57名が女子生徒ですが、実は、女子生徒としては第1回生なのです。男女共学が幕を開けた学年です。第2次世界大戦後の学制改革と男女共学化が私の卒業後の人生にどのような影響を及ぼしたかは知る術もありませんが、学制改革が行われていなければ、現在までとは全く異なる道を辿っていたことに相違はありません。上記の歴史を背景として、今があります。

学制改革によって女性に大学へ進学する道が開かれる幸運に恵まれて、私は物理学を専攻することにしました。理系志向の中で物理に惹かれた動機は、高校時代の物理の授業(大石清先生担当)にあったことは間違いありません。大学院終了後の6年間を東京大学で

研究生活に専念した後、お茶の水女子大学で教育と研究に31年間携わって、12年半ほど前に定年で退職しました。定年退職も、既にひと昔以上も前の話になります。あまりにも多忙だった日常の記憶は遠のきつつあります。退職後も、研究・人材養成関連の委員会の委員などを務めています。忙しさは在職時とは比べるべくもありません。定年退職後は海外旅行に出かけたり、大好きな狂言の舞台を楽しんだり、気持ちに余裕が生まれました。

「ここ数年の纏まった仕事は、女性研究者と科学技術の未来」と題した研究会の代表を務めたことです。最近盛んに行われている「男女共同参画」推進の社会運動に、なんとなく馴染めないでいる私に、国際高等研究所(京都府)の前所長金森先生からお奨め頂いて、国際高等研究所研究会として上記の研究会を企画しました。参加者(招待講演者を含む)は大学教授(含む名誉教授)のほか、文部科学省局長・課長、小中学校・高校の先生、会社役員、科学博物館主幹など、多彩な顔ぶれで構成しました。アメリカの大学で教授歴の長い方2名の参加、さらには、受験産業に勤務する方の参加も得ました。出来るだけ広い視野で意

見を求められるよう、いろいろな立場の方々の参加に努めました。かくして、2007年、2009年度に8回の集まりをもち、今年3月に報告書を出版して肩の荷を下ろしました。学制改革から実に60年を経て、なお、女性の活躍促進を議論しているのが現状です。定年で退職して自由の身になつたとはいえ、即、研究から離れてしまふ気持ちにはなれませんでした。幸い、理化学研究所(理研)で研究囑託(理研)を勤めています。特に義務はありませんが、研究室の主任からはセミナーの企画を任ざれており、最近の研究を中心に講師の選定を楽しんでいます。また、日常的には最先端の研究を行っている若手研究者に囲まれて、老化を遅らせる効果を期待していますが、はて(??)母校の益々の発展を祈念しつつ、60年前に磐田南高を巣立った「卒業生の今」のご報告といたします。(お茶の水女子大学名誉教授・理化学研究所研究囑託・国際高等研究所フェロー)



卒業生は... 研究者として

私は関東の大学で、エジプトを中心とする中東地域の国際関係や政治について研究をしています。今、日本は大震災と原発事故で岐路に立っています。が、遠いエジプトも大きな変革期を迎えております。今年に入りアラブ地域

のいくつかの国で政変が起き、依然混乱が続いていますが、なかでも1月末から2月にかけてのエジプトの政変(1月25日革命)は皆さんの記憶に新しいことと思います。国民が一致団結して国の最高指導者を追放するのは、数千年といわれる長いエジプトの歴史始まって以来の出来事でした。私は年に3、4回ほど日本とエジプトを行き来しているのですが、長期独裁政権のもと遅々として進む様子のない政治改革に、爆発寸前の国民の不満がどのような形で放出されるのか、この数年は固唾を呑んで見守っている状態でした。そして起きたのが今回の革命でした。研究者として活発に活動でき



中東地域の国際関係を説明する鈴木さん

現在、毎日めまぐるしく変化する中東情勢をにらみつつ、研究とともに早稲田大学で教育に奔走する日々を過ごしています。最近の日本の大学生は受身、内向きであると指摘されており、エジプト革命を成し遂げたのは、自分達の手で国を変えていこうという意欲に燃えた若者でした。授業でも、エジプトの若者の姿を伝えることで、少しでも将来の日本を担う前途ある大学生に刺激を与えることができたらと思っております。(早稲田大学イスラーム地域研究機構研究員准教授)

### ミスキャンパスのグランプリ受賞

高59回 伊藤弘美 (立教大学)

昨年度の“Miss.MR. RIKKYO OF THE YEAR 2010”と“Miss of Miss Campus Queen Contest 2010”に出場し、グランプリに選んでいただきました。



私自身、これを通して非常に貴重な経験を積むことができました。家族や友達に支えられながら普通の学生生活には無いような経験ができたということに、本当に感謝しています。

高校時代の思い出としては、マウンテンビュー高校への訪問と、交換留学生の受け入れが特に心に残っています。何物にも代えがたい出会いがあり、写真を見返すと当時のことを鮮明に思い出します。

現在、大学4年生になり学生生活も残すところあと少しとなりました。日々、感謝の気持ちと、新しい事へ挑戦する前向きな気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思ひます。

四月から六月にかけ、静岡新聞にコラムを連載しました。そのコラムをご覧になった同窓会役員からの要請で、今回同窓会に寄稿させていただきますこととなりました。

卒業以来三十数年、同窓会活動に全く不真面目な私には何とも敷居の高い依頼なのだがお受けした。恐縮である。コラムを掲載していた3ヶ月間、多くの方から様々な激励をいただいた。特に

白井光比呂さん 略歴 1984年ユニ・チャーム㈱入社。営業職を経てマーケティング担当へ。一貫して大人用紙オムツの普及・啓蒙に努め、国内シェア50%を実現。2009年3月日立製作所との共同出資による子会社を設立。現在に至る。

高10回 杉嶋 岑 願みて断片的な楽しい思い出はあっても、何時もあくせくと余裕なく、誇り高き自意識と共生し、且つ闘いつつ苦しみつつ今日まで来た。とりわけ多感な高校時代は学校の勉強にもついて行けず、「魂の救済」を求めて仏門(可睡斎)を叩いたりもした。重苦しい毎日の3年間だった。その思

私のバイブルと化した。暗 『萩原朔太郎詩集』は爾後、この高校時代、二人の国語教師に感化を受け、今にして思えば私の拙ない文章作法を決定付けたと思う。一人は松下仁平先生。松下先生が発した「萩原朔太郎は日本の生んだ世界最高の詩人である」に感化、触発され、修学旅行先の高松の書店で入手した角川文庫『萩原朔太郎詩集』は爾後、私のバイブルと化した。暗



北朝鮮抑留の体験をまとめた著書を手にする杉嶋さん=新宿・紀伊屋書店本店で

いを日記に書き、日記の世界に逃避すらして。お蔭で愛用の手持ち三省堂発行『辞海』の収録語彙十余万語は

誦した「旅上」「帰郷」「軍隊」「絶望の逃走」「僕等の親分」などは、孤独と絶望に打ち拉がれる度に必ず口遊み、自らを励ましてきた。特に「旅上」の放つ快きリズム感、私の稚拙な文体にも生理化されたと自負している。私は寄稿依頼されたり私信を書く時、先ず頭の中で声を出して文章化し、音(朗)読しても耳触りが良い言葉を選び文字化する。名文とは程遠くとも私の拙稿の最高の読者は私自



### 友あり遠方より来たる

高32回 白井光比呂



身であり、ナルシストそのもので、独り密かに何度も繰り返し朗読してはリズム感を確かめ、愉しむ時の経つのも忘れる。但し、人はいさ、心も知らずである。もう一人は山下鎮平先生。ある作文の授業で私の作品が旭上に載せられた。山下先生曰く「難しい漢語や言葉遣いを多用しても思想が深いという訳ではない。これは最悪の作文です。また、この心情、この情景

な己の立ち位置を概ね予測できるほどには、経験も重ねてきたはずだ。今や超高齢社会。私たちにはまだまだ長い人生が待っている。職業人としての人生に入れたんできた人間であればある程、仕事を一歩離れた時の己の足元の覚束なさには愕然とするはずだ。「第二の人生」という言葉に臨場感を感じ始めるのも、きつと今頃からのだろう。

だからこそ、気心の知れた友人の存在は貴重なのだと思う。利害や上下への配慮に緊張することなく、全員が対等の立場で付き合えるのは、実は同級生だけなのだ。しかも自分たちが最も輝いていた青春時代の記憶を互いに共有できている。こんなメンバーが集まって楽しくないはずはない。これまで疎遠であることを放置していた自らの無精を反省し、これからは彼らとの交流を大いに楽しみたいと思っている。

# 周年プレ特集

# の精神



見付中学校正門・本館

## 初代校長 尾崎楠馬先生の教育理念

編集委員長 高15回 伊藤 英明

母校は来年創立90周年の記念すべき年を迎える。

この節目の年に当たり、初代校長尾崎楠馬先生の建学の精神及び人間性について改めて振り返り、母校への敬愛の念を深めると共に同窓生の絆と誇りを高める機会としたい。



開校当時の若き尾崎校長

### 建学の精神

校長就任5年後に挙行された開校式の式辞で、先生は「本校創立以来人材の養成を以って教育の眼目となし、特異の校風を挙揚して此の目的を達成せんとし、外には生徒の勤労作業を奨励して質実剛健の気象を養うと共に、又能く環境を整理し美化して自ら高尚優雅の情操を培い、内には図書を充実して精神の糧を与え、以って智徳の啓発に資せんことを期せり。」と述べている。

### 勤労作業は人づくり

この建学の精神に基づく具体的な教育展開については、「生徒の力を以って樹を遠近より移し、

或は丘を起こし池を穿ち、花壇を開き温室を設け：或は運動場を拡張し防風堤を築き水泳場を備うる等、悉く是血と涙と汗との結晶より成れる。」と勤労作業を重点に述べている。まさに、「下カ中」ここに在りの内容である。

しかし、尾崎校長はこの作業に、「生徒をして土に親しましめ、労働を重んじ秩序を尊び：長幼相助け強弱相携え、親和共同を喜ぶの俗とを馴致し、其の心身を錬磨すると共に自ら高雅闊達

### 尾崎校長略歴

- 明治11年 出生(高知県安芸郡)
- 明治29年 高知師範学校入学
- 明治33年 同校卒業
- 明治36年 東京高等師範学校入学
- 明治40年 同校国語漢文部卒業
- 明治41年 4月土浦中学校赴任
- 明治41年 「少林」の道号を授与
- 大正6年 浜松師範学校教諭赴任
- 大正10年 釈宗活禅師より印可
- 大正11年 見付中学初代校長着任
- 昭和17年 見付中学校長退職
- 昭和18年 校門に頌徳碑建立
- 昭和19年以降 保護司、社会教育委員、児童福祉協議会委員等
- 昭和29年 逝去(享年77歳)

※『尾崎楠馬先生遺稿集』より一部抜粋

### 見中を知っているか?

見中11回 柴田 岳夫

その時(昭和11年春)、私は念願の進学を果たして、大学にい



た。そこでは、全国から集まってきた学生が自分の出身校を紹介して自慢し乍ら自己紹介をし

「お前はどこだ。」俺は天下の見付中学だ。「見付?聞いたことないなあ。」どこだか知らないな。「見中は創立以来10年余りだから伝統や先輩も少なかったの無理もない)」

「おい一寸待て、知らざあ云って聞かせよう。今度のオリンピックの中学から三人水泳選手を出して、大活躍。しかも三人共入賞して世界を驚かせた。それが見付中学だよ。」と云って、我が事のように胸を張った。私の話を聞いた学友たちもすつかり感心して脱帽した。

### ○榮譽と悲劇の群像

昭和12年 国家総動員法が発令された春、我ら11回の146名は見付中学を卒業した。やがて悲劇を孕んだ年月を迎えるとは、誰も想像しなかった。

見中卒業生の中で最も多い戦死者(36名)を出した回である。それは同級生の誇りであると共に悔恨でもあった。一特に鹿の屋海軍基地から沖繩へ突入した沼野利朗(予科練)は特筆すべき特攻志願であった。次は当時我々の年代の憧れの的であった海兵・陸士に進んだ同級生は実に多かったことも誇りであった。現地で終戦を迎えた彼等の末路は勇壮にも哀れであった。終戦時、朝満国境でソ連軍と交渉に当たった朝鮮軍参謀大杉市之輔(陸

士・陸大出身)は失敗し、ソ連軍に斬殺される悲劇にまみわれた。次に海軍出身の同級生ホープであった加藤太平は、太平洋上で敵を遂撃飛行中あえなく戦死した。

### ○これも友人

今まで国家の為に盡した友人で軍人を書いたが、国家に背いた友人もいる。同級生に知らぬ者のない極めて普通の人に見える天下一品の奇異な友人F君がいる。早稲田(商)を出た東芝社員であったが、学生時代から逸話には事欠かぬ。そのF君が軍隊に入り、経理部・幹候で戦地を移動した。満州へ渡り敗戦と共に部隊を抜けて、黙ってパリ口(中国軍)へ入った。恐らく以前から連絡していたのだろう。中国軍の長老の中に入って落ちて着いて余生を送ったと想像する。何故そんな事をしたのか。私は彼が終戦後恐らく日本へ帰らぬだろうという予感があった。要するに狭い日本には住み倦きたということだろうか。



美化運動の一環 校庭の草むしり

# 母校創立90

# 建学の



現在の正門からの耐震工事済みの校舎

魂は永遠に磐南の上にあり  
見中3回 江間 博

磐田南高校の前身である見付中学に入ったのはもう85年も前の頃である。グラウンドはできが西からの乾風を防ぐため防風堤を造ることとなり、私たち生徒はもっこを担ぎ土を運んだ。夏になるとプールを造ることとなり夏休みを返上して土を掘った。そのプールからオリソピックのゴールドメダリスト牧野君が現れたことは周知の所である。尾崎先生の建学精神を一語で言うとは質実剛健の精神に尽きる。

私が4年生の頃、廊下を歩いていた時、尾崎先生が静岡県知事（當時は官選）を案内してくるのに出逢った。その頃、見付中学の令名はさくさくと天下に知れわたっていたので見学者が絶えなかったのである。冬のさ中であつたが靴下を履かない素足の私に驚いて県知事が尾崎校長に問い尋ねたのに対し、尾崎校長が質実剛健を旨としていると答えられたのが、今も私の記憶に残っている。

残念ながらこの尾崎先生の精神は台頭した軍国主義の中に埋没したが、もう一度見直すべき精神であると考え。もとより思想の自由・平和の理念とどう調和させるかという問題が残っているが、いま日本は未曾有の困難に直面している。原子力発電を存続させるにせよ廃止するにせよ節電は避けられない。その為には質実剛健な生活に戻らなければならぬ。青少年の犯罪が増加してゐるが、それを防止するためにも質実剛健の精神

の育成が重要である。先生はまた学校の美化に力をつくされた。先にふれたように廊下の拭掃除を奨励されると共に校舎と校舎の間に庭園をしつらえた。先生の亡くなられた10数年後、帰郷の折母校を訪ね先生の頌徳碑を仰いだ。その傍らに私の在学時代と変らず龍舌蘭の花の咲いているのを見て威厳のある先生の温容を思い出した。先生は見付の寺の墓に眠むつておられるが、その魂は我ら卒業生の心の中に、また永遠に磐田南高校の上にあるであらう。



学校教育の一環 防風堤工事

## 母校創立90周年記念事業 資金募集 趣意書(抜粋)

立秋の候 同窓諸兄姉におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

母校静岡県立磐田南高等学校は、大正11年に県立見付中学校として創立されて以来、来年度創立90周年を迎えます。この間における卒業生は3万余名を数え、県内はもとより国内外の各界・各分野において活躍されています。近年における母校の教育の成果も著し

いものがあり、今や県下屈指の進学校としての地位をゆるぎないものとしています。

創立90周年を来年に控えて、母校では記念事業準備委員会を組織し、記念式典・記念事業等の準備に着手しました。同窓会といたしましても、母校のより一層の発展を願つてできるだけだけの支援をしていきたいと考えていますので、会員の皆様のご理解とご協力を切にお願いする次第です。

以下、記念事業等の概略を紹介いたします。

### 【1】記念式典・記念行事

平成24年秋、会場は磐田市民文化会館を予定しています。周年行事として、簡素ですが厳粛に行いたいと思ひます。記念行事として、著名人による講演会を検討中です。

### 【2】尾崎先生顕彰碑改修事業

尾崎先生の顕彰碑は建立以来変わることなく現在もかつての正門前にあります。顕彰碑を移設し、周辺を整備する事業を行います。そしてこの事業を、初代校長尾崎先生の業績や建学の精神を在校生に知ってもらう機会にしようと考えています。

### 【3】記念誌の発行

記念誌は、最近10年間の各種記録を中心とした、100周年に向けての記録保存を考えております。価格は記念DVDとセットで2,500円です。

### 【4】記念DVDの作成

学校生活の様子を中心とし、本校の沿革を加えた内容で、記念誌と合わせてDVDを作ります。

### 【5】21世紀の南高生を育てる教育資金援助

母校には、初代校長尾崎楠馬先生のご遺産を元手に、同窓会員のご寄付等を募つて設立された尾崎教育振



興基金があります。創立90周年を機に、この基金の一層の充実を図り、21世紀に飛躍する磐田南高生のための教育活動への資金援助と共に、はぐま会館等の施設・設備の充実を図っていききたいと考えております。

### ■募金要領

#### (1) 募金依頼の対象

同窓会員 見中1回〜南高59回卒業生

#### (2) 募金目標金額

2,000万円以上

#### (3) 募金の使途

・記念式典、記念行事関係 300万円  
・尾崎先生顕彰碑改修関係 500万円  
・記念誌関係 300万円  
・DVD関係 100万円  
・教育基金 800万円

#### (4) 募金の種類

・一般同窓会員 一口 5,000円  
・篤志者 30,000円以上

#### (5) 拠出方法

・郵便振込用紙にてご送金ください。

#### (6) 募金締切日

平成23年12月末日  
(目標額に達しない時は募金を継続します)

平成23年9月吉日  
静岡県立磐田南高等学校同窓会  
会長 櫻井孝順

第十回

# マウンテンビュー高校訪問記

平成23年3月17日～3月27日

## BFF!

2年 土手 香澄

## 変わらないもの

2年 佐藤 寛子

はじめて訪れたMV高校は広く緑が豊かでした。歓迎会では英語が何一つ聞き取れなくて不安が募りました。いよいよホストファミリーと対面。Cassはかわいくて楽しいことが大好き。笑顔がキユートな優しい子でした。こうして始まった私の6日間!必死に聞き取って単語をつなげ、それでも通じなかったり。でも一番印象に残っているのは、日曜日のショッピング。Cassとおそろいでプレスレートを買いえました。「BFF」と書かれています。意味は「Best Friend Forever」一生の宝物です。



マウンテンビュー高校

アメリカに行つて非常に感じたことは「遠慮しない」ということです。自分が感じたことを素直に伝える行為は、日本では無礼にあたりますが、アメリカではちゃんとした礼儀なのです。私が今までいかに狭い価値観の中で生きてきたか。それを実際に体験できて強い衝撃を受けました。しにとでも満足しています。しかし逆に変わらないものも見

つけました。「人を思いやる気持ち」。私が会話ができず迷惑をかけた時、ミヤは「あなたは私の家族よ。」と言ってくれました。

# 尾崎楠馬先生関連新資料発見される

平成23年8月10日、本校の日本史の松井秀明教諭は図書室にて尾崎楠馬先生関連の新史料を発見した。写真はその一部で、上部は尾崎先生の当用日記で、大正七、十、十二、十三、十五、十六年と、昭和三年のものである。日々の備忘録、また日記のようなものが、青インクのパン書きで書かれている。達筆である。また

下部は講演草稿であり、昭和十二年十月はとある婦人会で「武士の妻」と題し講演をしている。また昭和十四年二月は「八紘一宇の精神と日本文化の精華」と題して講演している。講演先は主に静岡県西部で東は小笠郡、北は北遠地方、西は浜名郡まで、請われて精力的に講演をしていたことが分かる。



この講演草稿は先生のお考えの一端が伺われないへん興味深い。

# はぐま祭と磐南生の力

前生徒会長 3年 松下 康平

今年のはぐま祭は、一人一人が輝くという考えから、「虹」というテーマのもと行われました。前日には雨が降り、じめじめとした中での準備となっていました。一方で、「虹」というテーマにあっていると感じていました。そして、雨上がりの晴天の中はぐま祭が開催されました。

今年のはぐま祭は、一人一人が輝くという考えから、「虹」というテーマのもと行われました。前日には雨が降り、じめじめとした中での準備となっていました。一方で、「虹」というテーマにあっていると感じていました。そして、雨上がりの晴天の中はぐま祭が開催されました。



展にも、こうした磐南生の力を見ることができ、今年のはぐま祭の成功を感じることができました。



# 大学合格状況

(数字は過年度卒を含む合格者延べ数)

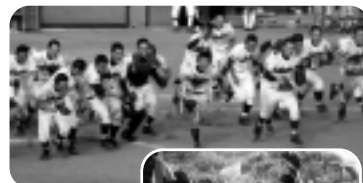
国立大学	人数	国立大学	人数
帯広畜産	1	山口	2
北海道	6	徳島	1
弘前	1	九州	1
東北	10	九州工業	1
秋田	1	国立大学合格合計	139
福島	1		
筑波	1	公立大学	人数
群馬	1	高崎経済	2
埼玉	2	千葉県立保健医療	1
千葉	3	首都大学東京	1
お茶の水女子	2	横浜市立	2
電気通信	1	新潟県立	2
東京	5	山梨県立	1
東京外国語	1	都留文科	2
東京学芸	1	静岡県立	8
東京工業	1	静岡文化芸術	3
横浜国立	6	名古屋市立	1
新潟	3	奈良県立	1
金沢	5	県立広島	1
福井	1	公立大学合格合計	25
山梨	5		
信州	1	主要私立大学	人数
岐阜	3	早稲田	20
静岡(人文)	7	慶應	13
静岡(教育)	6	立教	7
静岡(理)	1	明治	30
静岡(工)	6	法政	15
静岡(農)	1	上智	4
静岡(情報)	3	国際基督教	1
浜松医科(医-医)	6	東京理科	23
浜松医科(医-看護)	3	青山学院	15
名古屋	11	中央	19
名古屋工業	1	津田塾	3
京都	5	常葉学園	28
大阪	10	南山	13
神戸	2	立命館	49
奈良女子	2	同志社	35
岡山	2	関西	16
広島	6	関西学院	5

# 在校生の活躍

## 平成23年度 部活動報告

### 野球部

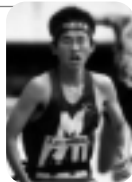
第93回全国高等学校野球選手権静岡大会  
 磐田南高校 8 - 1 富士東高校  
 磐田南高校 12 - 2 浜松太平台高校  
 (5回コールド勝ち)  
 磐田南高校 4 - 11 静岡高校  
 (7回コールド負け)



野球部

### 陸上部

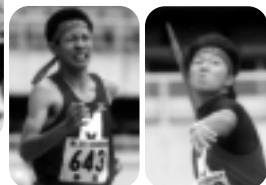
東海大会 6/17、18、19  
 (於/エコパ・スタジアム)  
 男子やり投げ 木村友哉 決勝8位  
 男子400mH 服部達哉 予選敗退  
 男子3000m障害 石橋輝久 決勝14位



陸上部

### 弓道部

東海大会 6/18、19  
 (於/静岡県武道館弓道場)  
 男子団体 決勝進出 ベスト8



弓道部

### 水泳部

東海大会 7/23・24  
 (於/静岡市 県立プール)  
 水球 4位



水泳部

### ビジュアル部

全国高等学校総合文化祭福島大会  
 8月3、4、5日(於/会津若松市)  
 写真部門最優秀賞受賞  
 28HR 山田知咲 『気合の一かぶり』



ビジュアル部

### 囲碁部

全国高等学校総合文化祭福島大会  
 8月4、5日(於/福島市「コラッセふくしま」)  
 囲碁部門 出沢佑樹



囲碁部



地学部



物理部

### 地学部

全国高等学校総合文化祭福島大会  
 8月3、4、5日(於/郡山市 日本大学工学部)  
 自然科学部門 スプライト班・地質班  
 池田郁也・下谷豪史・鈴木竜成・辻本敬斗  
 口頭発表  
 『高光度発光現象ダンシングスプライトの形態と成因』  
 ポスター発表  
 『遠州灘海岸の砂に含まれるガーネットの性質と起源の推定』  
 今年度から初めて正式に発足した「自然科学部門」への参加。  
 SSH  
 物理チャレンジ 38HR 石川文啓 徳永大祐  
 7/31~8/3 筑波大学  
 第2チャレンジ進出(75人/約1,200人)  
 SSH東海地区フェスタ2011(愛知県名城大学)  
 パネルセッション 特別賞  
 口頭発表 優秀賞  
 その他  
 日本地球惑星科学連合高校生セッション  
 (千葉県幕張メッセ)  
 地震気象班 優秀賞・奨励賞

## 「創立九十周年記念誌」の編集方針が決まりました。

来年度の創立九十周年記念事業の一つである「創立九十周年記念誌」の編集方針が決まりました。「八十周年記念誌」の刊行を受けて、その後の十年間(平成14年、23年)の記録となります。部立ては次の様に計画され、60ページを予定しています。

### 創立九十周年記念誌

全日制の部

現在の磐田南高校(四季の写真集)

第一章 この十年―南高トビックス―

(一年ごとに1ページの記録)

### 第二章 特集

第1節 マウンテンビュー高校

との姉妹校提携20周年

SSHのこの十年

第2節 校舎の耐震工事

部活動のこの十年

第3節 尾崎先生顕彰碑の移築

第4節 データファイル

第三章 歴代校長・生徒数

進学実績

定時制の部 定時制のこの十年

「創立九十周年記念誌」は本校の「学校紹介DVD」とセットで、郵送料込み二千円で予約を受付中です。

人・出会い・感動.....そして発見



袋井駅前 TEL.(0538)43-1212  
比那 純(高15回)

総合建設業



ISO9001 14001認証

# 石川建設株式会社

磐田市今之浦5丁目1-1  
TEL(0538)36-0021

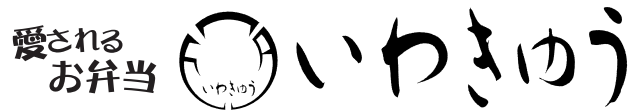
地域に密着した医療を目指します

内科・小児科 **木佐森医院**

院長 木佐森正樹(高25回)

〒438-0077 磐田市国府台55-1  
TEL.0538-32-2555

一般及び寝たきり老人 往診応需  
禁煙治療(保険可)



鷹野 三平(見中8回) 鷹野 靖(高15回)

〒438-0086 磐田市見付5085-4  
TEL 0538-32-9201 FAX 0538-32-9204



処方せん受付 マイクロダイエット

# 国府台薬局 ファミリー薬局(二之宮)

磐田市国府台94-3 TEL 35-2175  
鈴木 敬三(高9回) 鈴木麻里奈(高38回)



# 磐田化学工業株式会社

本社 〒438-0078 静岡県磐田市中泉3069番地 TEL(0538)35-5100(代)

レンタル 建設仮設材レンタル 人材 人材紹介・派遣サービス  
請負 クサビ式足場請負 機械 仮設材清掃機販売

# site 株式会社 サイト

安心の須山建設グループ

代表取締役 大庭 義信(高20回)

本社 浜松市西区伊左地町2790-(10) ☎ ☎ 35-4(代)26  
東遠営業所 掛川市大坂636 ☎ ☎ 3772)-4129  
人材事業部 ☎ ☎ 0120-452-310

<http://www.your-site.co.jp>



応援します あなたの笑顔

# 磐田信用金庫

〒438-0078 磐田市中泉578番地1  
TEL.0538-32-5110・FAX.0538-34-8021  
<http://www.iwashin.co.jp/>



# THE FOREST Country Club ザ・フォレストC.C



変化に富んだ3コース 橋・一宮・天竜 27ホールズが魅力  
コンペ・プライベートにご利用を!!

コース 〒437-0227 静岡県周智郡森町橋576-3  
TEL.0538-85-4141(代) FAX.0538-85-4785

# 磐田脳神経外科病院

24時間いつでも診療します。脳ドック検診受け付けは随時

院長 金子的 実(高21回)

〒438-0086 静岡県磐田市見付1766番地の1  
TEL(0538)34-1111 FAX(0538)32-1441

<http://www.iwatanoge.com>



# シイキ写真館

椎木 宏(高2回) 椎木 厚(高3回)  
椎木泰行(高6回) 椎木雅章(高33回) 椎木隆太(高37回)

本店 / 磐田市加茂川通り Phone(0538)32-6435  
浜松店 / ホテルコンコルド浜松3F Phone(053)452-1231  
愛野店 / フォスタジオアムール Phone(0538)43-5225

# 和の心 贈ります かしゅう 菓子勇本店



磐田市坂上町2988 TEL・FAX 0538-32-3340

**NAC**  
**ナックフィーディング株式会社**

本社・工場 〒438-0002 静岡県磐田市大久保117-3 TEL.(0538)38-2666[代表]  
 東京営業所 〒142-0051 東京都品川区平塚1-15-2 TEL.(03)6426-9286  
<http://www.nacweb.co.jp>

代表取締役社長 **深見 康弘** (高15回)

**Shizuoka Seiki Co., Ltd.**

静岡県袋井市山名町4-1 TEL.0538-42-3111  
<http://www.shizuoka-seiki.co.jp>

営業品目  
 米麦乾燥機・穀物水分計・穀物品質判定機・米食味計・茶成分分析計  
 農産物低温貯蔵庫・業務用オイルヒーター・業務用冷風機

**原田和義 税理士事務所**

税理士 原田 和義(高20回)

静岡県袋井市国本2493-7  
 TEL&FAX 0538-43-2462

人・住まい・環境の最適調和がテーマです。

**セキスイハイム東海**

浜松市中区板屋町111-2(アクトタワー25階) 〒430-7725  
 TEL:053-453-4560 FAX:053-453-4537  
 ホームページアドレス <http://www.816t.jp>

さわやかな環境をクリエイト

**BANNAN**

磐南浄化槽株式会社

代表取締役社長  
**木戸 智弘**(高34回)

磐田市下岡田358-2 ☎36-0051 FAX 37-6622

**TK TANIKO 株式会社タニコー**

高33回 水谷 眞啓  
 高33回 青山 光男(旧姓 金原)

磐田市南平松5番地 TEL 0538-67-1880(代)  
 mizutanim@taniko.co.jp FAX 0538-67-1881  
<http://www.taniko.co.jp>

ブランドリサイクル

**PickUP**

宮竹店・西伊場店・磐田店・掛川店  
 古着バザール宮竹店

株式会社 **ピックアップジャパン** 本部 磐田市今之浦3-4-2  
 URL: <http://www.pickup-japan.com>

金・ブランド買取専門店

**キンバリー**

浜松高林店・浜松向宿店  
 静岡SBS通り店

**長尾 仁 税理士事務所**

税理士 長尾 仁 (高20回)

〒438-0086 磐田市見付3719-1  
 TEL.0538-35-9221 FAX.0538-32-8735



小物部品・締結部品・  
 精密ネジ部品

ISO9001 認証取得  
 ISO14001

**株式会社 マルイチ**

代表取締役 **安間信義**(高7回)  
 専務取締役 **安間浩彦**(高33回)  
 取締役 **松島孝久**(高17回)

本 社 〒430-0898 浜松市南区瓜内町540  
 TEL(053)441-4684代 FAX(053)441-3452

実印・銀行印  
 ゴム印・シャチハタ

農地法申請  
 官公署提出書類

**安 田 印 慶田行政書士事務所**

安田 正晃(高22回)

磐田市中泉(西町)612-1 TEL 0538-32-2855

印刷 デザイン  
 Web制作  
 企画

いつも、  
 コミュニケーション。

**株式会社 大進堂**

☎0538-32-9165 FAX 0538-35-3720 〒438-0016 磐田市岩井2295  
[www.taishindo.co.jp](http://www.taishindo.co.jp) プライバシーマーク取得企業

# 会計報告

## 平成23年度磐田南高校同窓会会計予算

### 収入 平成23年4月1日～24年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,200,000	平成23年3月卒業生320名分
預金利息・配当金	100,000	定期預金(静銀)からの利金74,456円追加
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高22回生)
雑収入	200,000	同窓会報広告代等
前年度繰越金	857,552	
合計	4,557,552	

### 支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,800,000	
会議費	350,000	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	500,000	同窓会総会・記念メダル代・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	600,000	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	250,000	転退職饗別・慶弔費等
事務費	60,000	通信費・事務費等
事務局費	40,000	人件費・交通費
事業費	2,580,000	
卒業記念品代	200,000	校章入り印鑑
会報発行費	2,000,000	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	180,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	200,000	ホームページ運営費
予備費	177,552	
予備費	177,552	
合計	4,557,552	

## 平成22年度磐田南高校同窓会会計決算

### 収入 平成22年4月1日～23年3月31日 (単位:円)

科目	金額	備考
同窓会入会金	3,260,000	平成22年3月卒業生326名分
預金利息・配当金	69,041	配当金・定期預金利息
寄付金	200,000	卒業40周年寄付金(高22回生)
雑収入	289,728	同窓会報広告代等
前年度繰越金	873,693	
合計	4,692,462	

備考:平成23年3月卒業生同窓会入会金(320名)3,200,000円は2月18日に入金されていますが、平成23年度分収入とさせていただきます。

### 支出 (単位:円)

科目	金額	備考
会務費	1,463,626	
会議費	226,872	役員会・評議員会等会議費
総会・慰霊祭費等	217,414	同窓会総会・記念メダル代・慰霊祭費用等
支部総会・年次運営費等	624,000	支部総会助成・祝儀・旅費等
慶弔費	165,711	転退職饗別・慶弔費等
事務費	48,050	通信費・事務費等
事務局費	181,579	人件費・交通費・MV引率者歓迎会費
事業費	2,371,284	
卒業記念品代	192,420	校章入り印鑑
会報発行費	1,856,444	同窓会報編集・印刷・郵送費等
教育振興費	133,000	東海大会等出場選手激励金
諸費	189,420	ホームページ運営費
合計	3,834,910	
次年度繰越金	857,552	

別途積立金会計			
1 終身会費等の積立金(普通預金)	4,277,288	6 利付国債No.2	10,000,000
2 諸事業用予備金	1,046,471	7 利付国債No.3	5,000,000
3 定期預金(磐田信用金庫)	10,000,000	8 磐田信用金庫への出資金	1,000,000
4 定期預金(静岡銀行)	10,000,000	9 名簿会計	5,971,338
		合計	¥57,295,097

## 平成22年度会務報告

- 4/7 母校入学式 保護者オリエンテーション  
同窓会だより第32号編集委員会(以後毎月継続して会合)
- 4/14 校内幹事会
- 4/16 磐田支部総会 ヴィーヴル迎賓館磐田
- 4/30 会計監査、役員会 役員と校内幹事との懇親会
- 6/11 役員会
- 6/19 評議員会・役員会 はぐま会館
- 7/2 卒業50周年記念事業(高13回)母校に記念品贈呈
- 7/23 役員会
- 7/31 袋井支部総会 袋井市総合センター4階
- 8/14 総会前日打合せ(役員、当番年次、校内幹事)
- 8/15 慰霊祭(高32回担当) 総会(高41回担当) 磐田グランドホテル 卒業40周年事業(高22回) 同窓会に資金援助20万円
- 9/17 関西支部総会 ホテル ヴィアール大阪
- 9/30 静岡支部総会 クーボール会館
- 10/10 同窓会だより第32号発行
- 11/5 役員会、総会当番引継ぎ会(高41、42回)
- 11/12 関東支部総会 レストラン「アラスカ」パレスサイド店
- 2/10 役員会
- 2/12 豊田支部総会 磐田商工会豊田支所
- 2/28 高校63回同窓会入会式
- 3/1 高校63回卒業式

8月21日に、第85回見聞・磐田南高等学校同窓会総会が多数の皆様様の御参集により盛大に開催されました。準備及び当日の運営に苦勞された42回生の皆様

事務局より

平成23年度各種当番年次
卒業10周年 高校52回生(新年次委員選出)
卒業20周年 高校42回生(総会担当)
卒業30周年 高校33回生(慰霊祭担当)
卒業40周年 高校23回生(同窓会に資金援助)
卒業50周年 高校14回生(母校に記念品贈呈、同窓会より記念品贈呈)

平成23年度校内幹事役割分担
総括 磯部豊彦、(松本勝彦)、鈴木文基、佐藤正明、永田 淳、大沢健一
役員会 磯部豊彦、(松本勝彦)、永田 淳、佐藤正明、鈴木文基、鈴木敦士
庶務 磯部豊彦、青木和彦、小杉友祐、澤井智ひろ、鴨藤忠博、(小澤美穂)
会計 磯部欣宏、藤井元喜
総編集・管理 林 研光、磯部欣宏
慶弔 はぐま会館 松本勝彦、大沢健一
同窓会だより 鈴木文基、柴田里紗、(村井雅子)、(小澤美穂)
ホームページ 林 研光、小杉友祐、駒形一路、(村井雅子)

- 編集委員
- 櫻井孝順(高17)
  - 鈴木孝昭(高12)
  - 伊藤英明(高15)
  - 袴田悦子(高16)
  - 高橋耕太郎(高18)
  - 原田康代(高20)
  - 横井純夫(高23)
  - 鈴木文基(高27)

創立90周年の前年として、初代校長尾崎橋馬先生の建学の精神を振り返り、見魂を呼び起こす機会にと第33号を編集しました。原稿依頼にご協力いただきました同窓生各位に心から感謝申し上げます。なお、その中で、見魂11回の柴田岳夫様は、近現代日本・戦争と平和の苦闘史を、南高10回の杉嶋孝様は、北朝鮮抑留記わが闘争二年二ヶ月の近著がありますので紹介いたします。

編集室より

に感謝申し上げます。総会においては、会務・事業・予算関連の報告および計画に関する議案が承認されました。また、掛川・菊川支部の新設が承認され、支部長の大庭勝良氏(高7回)よりご挨拶がありました。さらに創立90周年記念事業についての概要と専金について報告を行った。本校同窓会名簿を使っていることお知らせしました。今春の人事異動で校内幹事として新たに、青木和彦(高32回、数学)、藤井元喜(高46回、英語)、柴田里紗(高53回、国語)、永岩文子(高29回、英語)の4名をお迎えしました。(磯部豊彦)